

# 28 堀小〔1〕学年・学級 経営プラン

## ◆学年目標

○話をよく聞く子

○自分のことを、自分でする子

○友だちと仲良くする子

## ◆学年経営（学校経営計画を受けて学年・専科として重点にしていくこと）

### 〔方針〕

- ・日々の生活や学習の場において人の話を正確に聞き、理解できるようにする。その学ぶ・学ぼうとする力を学習や人間形成に活かせるようにする。
- ・学習や生活の中で、自分がやるべきことは何かを考え、実行に移せるようにする。
- ・児童が関わり合って相互理解できるような活動を増やし、お互いのよさを認め合えるようにする。

### 〔重点的な取組〕

- ・話の聞き方を指導する。話の聞き方により、学習内容がよく分かり、分からなかったことが分かる喜びを味わわせる。そして、もっと知りたい・学びたいという気持ちにつなげていく。また、そのことにより、学習や人間関係が築けることも伝えていく。
- ・日々の生活の中の基本的な生活習慣を身に付けさせ、1年生としてやるべきことがきちんとできるようにしていく。堀小スタンダードの理解を図り、話の聞き方など授業や生活に必要なルールを教える。
- ・様々な活動を通して、友達と協力して取り組む場を設定し、お互いの良さを認め合える雰囲気作りをする。

## ◆学級経営（学級づくりの方針・特に大事にすること・配慮すること）

### 1組

- ・学習の基礎的・基本的事項を重視し、スムーズに学習の理解が進められるよう、その手順を重視し、学習を進めていく。このことを基にして、授業改善に努め、「もっと知りたくなる授業」をめざす。
- ・一人一人の児童に集団の意識付けをうながし、自分の立ち位置を確かめられるように図り、一員としての自覚をもたせる。堀小スタンダードの理解を図り、特に低学年に必要な話の聞き方・授業や生活に必要なルールを基本に学ばせる。
- ・一人一人の児童との信頼関係をつくる。そのため、児童が相互理解できる活動を利用する。そして、目標を達成するためのよりよい人間関係を形成し、これを通して思いやりの心を育てる。
- ・家庭との協力関係を築く。

### 2組

- ・一人一人の児童とたくさん接する中で児童理解を深めていく。児童の良さや頑張っている事を褒めながら、自分の良さに気付き、伸ばしていく。
- ・学習態度（特に話し方・聞き方を中心）を身に付けさせ、学習の基礎基本を確実に習得するために繰り返し指導を行う。
- ・児童が学ぶ楽しさやわかる喜びを感じていけるように教材研究に励み、授業づくりに力を入れる。
- ・人を傷つけることに対しては指導を徹底し、友達を励ます言葉、思いやりのある言葉から友達を大切にする心情を育てる。
- ・連絡帳等を使い、家庭との連携を密にして、児童が安心して学校生活を送ることができるよう、協力関係を築く。

### 3組

- ・一人一人の児童の目線に立ち児童理解を深め、その児童の良さや頑張っていることを褒めて伸ばしていく。
- ・相手を見て話を聞く・文字を丁寧に書くなど基本的な学習ルールを身に付けさせ、1年生として獲得すべき平仮名・漢字・カタカナや足し算・引き算などの基礎基本的な学力の定着を図る。
- ・児童が意欲的に楽しく授業に取り組めるように日々の教材研究に励む。
- ・人の心を傷つける言動があった場合は指導を徹底し、親和的・共感的な学級作りを目指す。
- ・学年便りや連絡帳などで保護者との情報交換をよくを行い、協力して児童の成長を図っていく。保護者会や面談などでは、保護者の声に謙虚に耳を傾け、その願いを大切にして信頼関係を築くように努力する。